

結果の要約

1 職業

神奈川県は15歳以上就業者数(4,314,535人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業」が1,038,348人(15歳以上就業者数の24.1%)と最も多く、次いで「事務従事者」が957,876人(同22.2%)、「専門的・技術的職業従事者」が732,629人(同17.0%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が49,600人(13.3%)増、「保安職業従事者」が4,682人(6.6%)増などとなっている。一方、「管理的職業従事者」が27,513人(21.0%)減、「運輸・通信従事者」が6,534人(4.6%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「事務・技術・管理関係職業」が41.6%と最も高く、次いで「生産・運輸関係職業」が27.2%、「販売・サービス関係職業」が27.0%、「農林漁業関係職業」が1.0%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」が0.4ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」、「事務・技術・管理関係職業」、「農林漁業関係職業」がそれぞれ1.4ポイント、0.6ポイント、0.1ポイント低下している。

「事務・技術・管理関係職業」 = 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」 = 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業」
「販売・サービス関係職業」 = 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」 = 「農林漁業作業」

2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は40.9時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が48.2時間と最も長く、次いで「保安職業従事者」が45.5時間、「管理的職業従事者」が44.0時間などとなっている。平成12年と比べると、すべての職業大分類で減少となっている。特に、「サービス職業従事者」が2.6時間減、「販売従事者」が1.6時間減となっている。

3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が828,691組(夫婦数2,144,421組の38.6%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が819,127組(同38.2%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫が「生産工程・労務作業」、妻が「事務従事者」である夫婦が75,017組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の9.1%)と最も多く、次いで夫と妻ともに「生産工程・労務作業」である夫婦が64,962組(同7.8%)などとなっている。

4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は1,223,627世帯(住宅に住む一般世帯3,458,128世帯の35.4%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は2,234,501世帯(同64.6%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が645,602世帯(同18.7%)、「女性のみ」の世帯が582,280世帯(同16.8%)、「幼児と女性のみ」の世帯が242,169世帯(同7.0%)となっている。

図1 神奈川県内の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

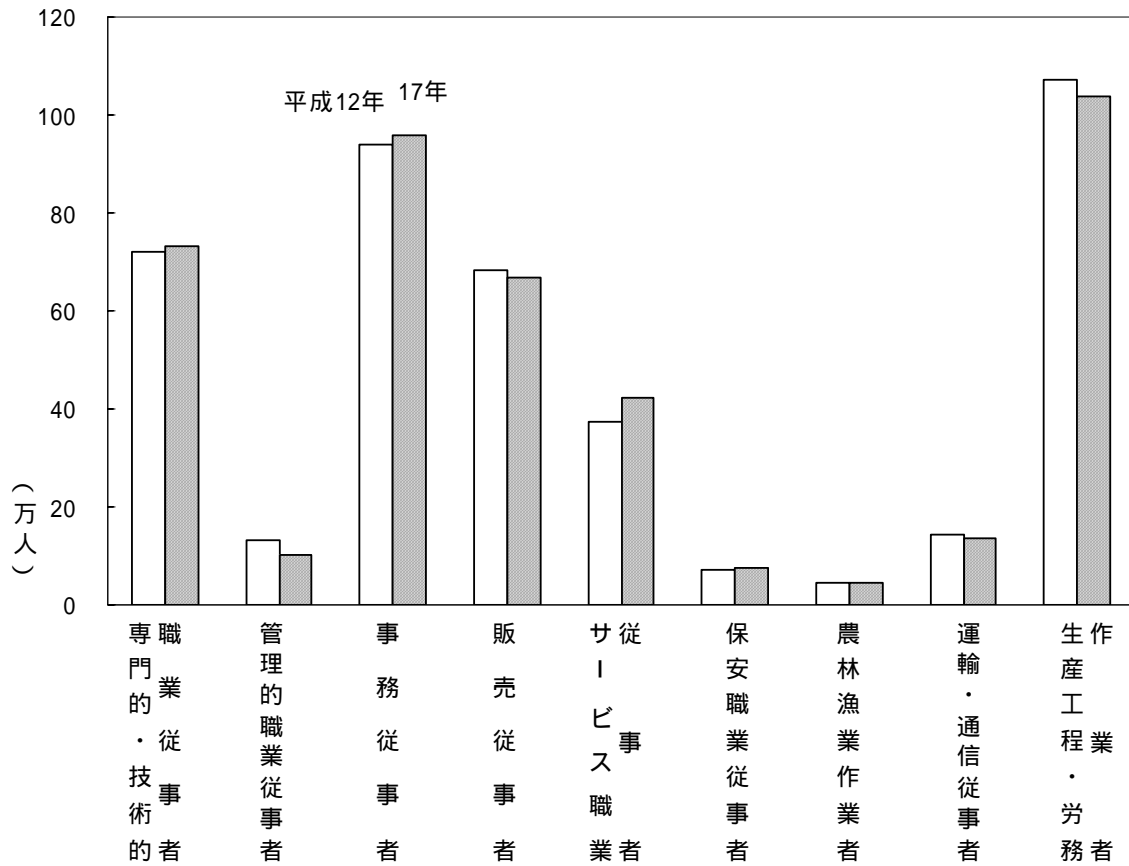


図2 神奈川県内の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

